

☆急増！アフィリエイト・ドロップショッピングの勧誘☆

友人やSNSで知り合った人から、アフィリエイトやドロップショッピングの内職を紹介され、「知り合いを勧誘して会員を増やせば、収入が得られると説明された」といった、アフィリエイトという単語を用いたマルチ取引のような勧誘が増えています。

○アフィリエイト

ホームページやブログなどを作成し、製品、サービスの宣伝を書き、広告主（企業等）のサイトのリンクを張ります。閲覧者がそのページから広告主のサイトへ移行して、実際の商品購入につながった場合、売り上げの一部が自分の収入になるという仕組みです。

○ドロップショッピング

実際に、自分のホームページなどで商品を販売します。販売用の商品の仕入れ費用や、売れた場合の手数料の支払いもあるため、売れても思ったほど簡単に収入にならない場合があります。

■問題点

- ・勧誘時の説明と実際の内容が大きく異なる
- ・簡単に儲かるように説明している
- ・高額な費用を請求し、支払えない場合は消費者金融やクレジットカード等の利用を促す
- ・マルチ取引で友人等から勧誘されるので断りにくい

□アドバイス

- ・簡単にお金を稼ぐことはできません、初期費用を取り戻すのは至難の業です。
- ・マルチ取引はトラブルが発生すると経済的被害だけではなく人間関係を損なうこともあります。契約の意思がないときは断りましょう。

- 不安に思ったりトラブルにあたりした場合は、消費生活センター等に相談しましょう。

【問い合わせ】

- 茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
 - 常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通)(本庁商工観光課内)
- ※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。



VOL.14

職員のつぶやき ~職員リレートーク~

市民協働課の大森貴矢です。

市役所に入って最初に学んだことは、協働という言葉の意味です。協働とは異なる立場の者同士の対等な協力を意味し、相乗効果や付加価値を生み出すことです。

7月に行われた「鶯子山上神社祇園祭」では、和太鼓を披露しました。山車に2つの付太鼓、大胴おおたねの計3張が付きます。3張の息が合って初めて1つの文となります。これが大変難しく、練習では苦勞あつしました。しかし調和が取れた時はとても心地良く、苦勞の甲斐あひあったと感じられました。

この太鼓のように、これからたくさんの人と協働に取り組み、様々なものを生み出していきたいと思います。



▲右端が大森さん